



#### 「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate thy thought in thy early days

若き日に汝の体躯を養え

Make thy body vigorous in thy early days

若き日に汝の智能を磨け

Improve thy wisdom in thy early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Chain thy hope to the stars in thy early days

### TOP\*NEWS

## 本校がSSH指定校に

### 文部科学省 スーパーサイエンスハイスクール 建学の理念に基づいた活動計画で



SSH活動では、大学・研究機関等と連携して「研究者・技術者の講義や実験」や「研究所訪問や実習」などが計画されている。写真は、平成15年度「Touch the Future technology!」プログラムに参加した生徒。東海大学の先生にも参加していただき、日本科学未来館で最先端科学技術について実習と発表を行った生徒。「スーパーカミオカンデ」についての調査実習(写真左)。地球環境について「エコハウス(環境共生住宅)」の発表(写真右)。

#### ■SSHとは

文部科学省は、未来を担う有能な科学技術系の人材を育てることをねらいとして、科学技術・理科、数学教育に重点をおこうとする学校を平成14年度以降、「スーパーサイエンスハイスクール(略称SSH)」に指定してきました。SSHでは「科学の夢」「科学を楽しむ心」をはぐくみ生徒の個性と能力を一層伸ばしていくことを目指します。

#### ■全国的にも狭き門

14年度に指定を受けた高校が26校。

15年度が26校。高輪台高校も、この指定を受けようと本校の理数系教育に関する研究開発案を作成して申請したところ、4月6日、その案が高く評価され、今年度のSSHの20校のうちの1校に指定されました。

#### ■都内の私学第一号

私学の指定校はこれまで慶應義塾高校、早稲田大学本庄高校などわずか4校のみでした。しかも、都内の私学としては、高輪台高校が初めての

指定です。大変な狭き門を突破しての快挙です。

#### ■日本一を目指して

この指定により本校は、今後3年間、開発案をもとに文部科学省の支援を受けながら、SSHの目標が達成されるように、学校一丸となって日本一の理数系教育実践校を目指して努力致します。

SSHの詳しい説明と、どのような実践がなされるかは次ページに紹介致します。

## Topics 学園オリンピック挑戦者募集

TOP\*NEWS

東海大学付属高輪台高等学校のスーパーサ



建学の理念に基づいたSSH活動を計画

高輪台高校のSSH活動では、一貫教育の特性を活かして、文理融合教育の建学の理念に基づいた内容が計画されています。新しい時代の開拓者として、歴史観、世界観に立脚した人生観を持った人材育成プログラムが検討され、「数学と理科の魅力を実感、理工系分野への興味と学習意欲を高める教育プログラム」、「社会とつながる学校教育のための、高校教員を主体とした連携・企画、評価・交流・成果普及等の手法」についての研究開発として、つぎの活動が展開されます。

①科学技術を身近に感じ、  
興味・関心と学習意欲を高める

創造性と独創性とともな倫理観をもった「時代の開拓者」となる人材を育成するため、高校の先生と大学・研究機関などの先生が協力して、生徒の科学技術への興味・関心や学習意欲を高める活動を行います。第一線の研究者による講義や実験を体験し、大学・研究機関等へも訪問することで、本物の科学技術とそれに携わる人の想いに触れ、理工系の仕事の魅力を知り、理科や数学を将来も役立つ楽しい授業にします。

②社会とつながる  
学校教育システムを構築する

高校の先生が主体的に第一線の研究者による講義や実験実習を計画し、「社会とつながる学校教育づくり」に取り組みます。4回のシリーズ授業を一つのまとまり(ユニット)とする方式で、大学・研究機関と連携した新しい教育システムを開発します。また、他の高等学校や中学校との交流も行います。



写真はいずれも平成15年度「Touch the Future technology!」プログラム(日本科学未来館にて)。

# イェンスハイスクール (SSH) 活動を計画

## 「建学の精神」に基づくSSH活動計画

目的	「希望を星につなぐ」 文理融合の総合文明を築くために、21世紀を担う「時代の開拓者」を育成			
目標	「思想を培い、体軀を養い、知能を磨く」 科学技術を身近に感じ、興味・関心と学習意欲を高める		「人格主義・人間主義の科学教育」 社会とつながる学校教育システム	
	理系能力・意欲 [理系人材育成]	科学リテラシー・思想 [文系含む人材育成]	外部との交流・連携・企画 評価・成果普及、体制づくり [教員]	
方針	数学	理科・科学技術	倫理観・思想	連携・企画手法／評価・成果普及
	[A] 数学を楽しく	[B] 理科を魅力的に	[C] 思想を培う	[D] 社会とつながる学校教育づくり

## 希望者による多彩なSSH活動を計画

### ■平日の授業では

C1: 高校現代文明論	建学の精神に基づき、科学技術のあり方を考える。
C2: 科学倫理	理数系科目のまとめとして、3年次に科学技術にかかわる思想の歴史、科学と社会、知的財産権、生命倫理等の諸問題のとらえ方と判断力を身につける。(開講予定)

### ■平日放課後には

A1: 楽しい数学	日常生活の中で活躍する数学の理論などを模型や実演を交えて楽しく体験します。
A2: マルチメディア物理数学	科学技術に必要な「物理のための数学」を実用的に実習します。
A3: マルチメディアCAI物理数学	「物理のための数学」をコンピュータを活用した教育(CAI)で学習します。
B1: リベラルサイエンスⅠ	外部講師の講義や実験実習を、高校教員が事前・事後学習でサポートをします。

### ■土曜日には

B2: リベラルサイエンスⅡ	大学・研究機関等の第一線の研究現場を訪問し、科学技術・理科への興味関心を高める。また、科学プレゼンテーション(英語)のコースを実施します。
----------------	---

### ■夏休みには

B3: リベラルサイエンスⅢ	大学での実験実習や、研究機関等を訪問する約一週間の集中コースです。
B4: 科学体験学習	科学研修旅行(3泊4日)で研究の現場を訪問し、本物の科学技術に触れます。
B5: 修学旅行の科学化	研修旅行(2年次)に、科学的な観点で内容を構成したコースを設置します。

■その他 このほか、「課題研究」、「卒業研究」、「SSHクラブ活動」などを計画します。  
また、高校の先生が、「社会とつながる学校教育」の様々な方法を開発します。

## 2004年度学校運営方針 学校改革・改善

飛躍4月号の「とびら」で述べましたように、2004年度の学校改革・改善に関して、具体的な取り組みを順不同ですが紹介いたします。

### 「学力をつける」ことへの確かな保証 「いつでも、どこでも、誰にでも質問できる」

#### 授業改革

★生徒自身が主体的に学びながら基礎・基本を確実に身につけられるような授業改革を進めています。

#### 横断的な学習

★教科を越えて連携を図り、内容をリンクさせた横断的な学習ができるようにしています。

#### 日常の学習

★定期試験や学園基礎学力定着度（総合）試験、各種のテストなどに向け、日常の学習を充実させています。



職員室で質問に気軽に答える小松原先生。

#### 生徒参加型

★「本校の授業改革指針」に基づいて生徒参加型・対話型授業への転換をさらに進めます。またシラバスを効果的に活用して最大限の効果を上げるように努力しています。



真剣なまなざしで授業に向かう。

#### 基礎学力

★学習内容の理解を確かなものとするために、補習や課題提出などを積極的に行い、生徒の基礎学力の充実を図っています。

#### 英語力

★実用英語技能検定試験で上の級の合格を目指し、英語でコミュニケーションが取れる生徒を育成します。

#### 授業の質

★担当教員間のきめ細かな打ち合わせにより、授業の質を向上させます。

来月号で、『「教員の研修・スキルアップ」の強化』を紹介いたします。

## 短大 INFORMATION

# 「この英語はちょっと違う？」

英語研究室、助教授 岡田 礼子

東海大学短期大学部情報ネットワーク学科（高輪キャンパス）では、10科目の英語の授業が開講されています。学生はの中から自分に合った科目を2科目以上履修します。「英語は中学高校で十分に勉強したので、もうしたくない」と、思う人もいるかもしれませんが、この英語は普通とはちょっとちがうのです。他の大学にはない本学独自の科目と、英語研究室で行っているユニークな活動を少しご紹介しましょう。

「コンピュータ・ワーク・リーディング」、「Webサイトリーディング」、「Eメールライティング」という科目が開講されています。これらの授業では、情報ネットワーク学科卒業後に、英語を即戦力として生かせるために、実践的な学習—英語だけしか使えな

いコンピュータで課題をする、英文ホームページで日本にまだない情報を検索する、まだ会ったこともない海外の人とEメール交換するなどをします。辞書を使って苦心しながらも、英語が実用できるとどんなに便利かを体験できるのです。

一方、このような実践的な英語活動にまだ自信がない学生には、パソコンを使って基本学習ができるように、楽しい教材がたくさん準備されています。本当に「楽しい」のでしょうか？それは保証済みです。なぜなら、本短大の学生グループが作った英語教材だからなのです。「英語が苦手な人たちにとって、どうしたら楽しく勉強できる教材ができるだろうか」と、毎年チームのメンバーたちが考え、意見を出し合い、技術を磨いて制作



研究室にて2003年度マルチメディア教材作成チームメンバーと。

するのです。画面・アニメ・プログラムのすべてを学生が作っているのです。同世代の興味を引く楽しい教材ができるのです。最近の4作品は、短大のホームページの「学生生活情報」からアクセスできます。ぜひ、試してみてください。

入学当初は「英語大嫌い」という学生たちが、1年たつと「英語もそんなに嫌じゃない」「もっと英語をやりたい」と言ってくれ、教員の大きな励みになっています。興味がある方はぜひ研究室を覗いてみてください。

## 活躍

## する卒業生

# Activity graduate

2003年度卒

阿弓 七恵

東海大学教養学部芸術学科  
デザイン学課程 1年

「希望を星につないで活躍する先輩」、5月は今春卒業したばかりの阿弓七恵さんと友人を紹介致します。阿弓さんは学園オリンピック芸術部門で優勝し、創作に忙しい合間を縫って4月号から新装なった『飛躍』の似顔絵を担当していただき、手書きのぬくもりを作り出してくれています。



左から阿弓さん、鴛田さん、森田さん。

2002年度建学祭の『思い出』と題したポスターを2・3年生の皆さんはご記憶のことでしょう。阿弓さんのこの作品は、色鮮やかに兄妹の強い絆を描きあげた印象深い作品でした。また体育科の先生方が着ていらっしゃる白いトレーナーに描かれた似顔絵も阿弓さんが描いた作品です。どの

顔を見てもそっくりなので驚くばかりです。

卒業して間もない3月19日、横浜のギャラリーで『COLORS』が開催されました。これは杉本先生の指導の下で互いに切磋琢磨しながら技量を磨きあった阿弓さんと鴛田美代子さん、森田沙紀枝さんの3人展です。桜の开花宣言の翌日、開いたばかりの桜には非情な冷たい風の日でしたが、会場は外の寒さとは違ってまさに春。同級生もたくさん見に来ていて感嘆の渦でした。「卒業を機に、立ち止まって自分たちの絵を客観的に見たかった」と、開催したそうです。阿弓さんは家族、友人らの絆をテーマに描き、鴛田さんは「記憶にない、自分を探り」そして絵本作家を目指す森田さんは「ファ

ンタジックな世界」を表現。それぞれ思うところは違いますが、若々しい勢いに溢れていました。彼らの可能性を強く感じさせられた三人展でした。しかし、これからが芸術を志す彼らの険しい道が始まるのかもしれません。新境地を模索するために、立ち止まり、自分たちの世界について果敢に人々の評価を求めようとする若い意欲に脱帽するばかりです。(ゆ)

阿弓さんの作品。



# 部活動の先頭に立つ5つの強化部 目指せ日本一!!

2004年度より本校では数多くの部活動の中から、次の5つの部を強化部に指定しました。吹奏楽部は全国一の金賞を二年連続で獲得しています。また柔道部も全国レベルの選手が活躍しています。これらの部が現在のレベルを維持するとともに、さらに他の部においてもこれらに続いて高い頂上を目指して欲しい、との期待をこめて「強化部」を設けました。学業と部活動を両立させながら高い目標に向かって前進することにより、人間的にも成長することが期待されます。

## 柔道部(男子)

### ★目標

柔道を通しての人間教育。そのうえで全国大会上位を目指す。長期的には日本代表として世界で戦える選手を育てる。

### ★監督の一言

人生の中でどんな時でも頑張ることが出来るよう、強い意志と行動力のある生徒を育てていきたいと思います。

### ★部長の一言(3年2組 高平正男)

関東大会では出場常連校として定着してきました。全国大会でも定着させ上位入賞を目標に部員一同力をあわせます。

### ★監督・コーチの面々

監督・酒井孝允  
コーチ・小成勝也、北田晃三



監督 酒井 孝允

## サッカー部

### ★目標

全国高校サッカー選手権東京都予選ベスト4!!  
東京都は2ブロックに分かれるので、ベスト4は決勝進出を意味します。

### ★監督の一言

恵まれた環境に甘えることなく、目標達成に努力していきたいと思います。生徒は様々なことを犠牲にして取り組んでいます。ご声援よろしくお願い致します。

### ★部長の一言(3年1組 清水隆弘)

これからは期待がプレッシャーとなり、私たちが襲うかもしれませんが、僕たちは目標に向かって日々前進していきたいと思います。

### ★監督・コーチの面々

監督・吉川博人  
顧問・江口淳二、西川秀一  
コーチ・川島純一



監督 吉川 博人

※似顔絵は3年生の小林静奈さんと、2003年度卒業生の阿弓七恵さんです。

# 男子 バスケットボール部

★目標 関東大会出場

★監督の一言

強化部に指定されたことで選手一人ひとりがプライドをもち、がんばって、良い結果を出してくれることを期待します。

★部長の一言(3年1組 古庄政啓)

強化部のプレッシャーに負けないように精一杯頑張りたいと思います。応援をお願いします。

★監督・コーチの面々

監督・米谷昭人 顧問・高橋佑未子



監督 宮島 孝一



監督 米谷 昭人

# 野球部

★目標

細かいことはナシ!強化部になった以上、目指すは甲子園球場。

★監督の一言

めぐまれた環境が整った今、甘えは許されない。ここからは目線・姿勢を全国に向けたい。

★部長の一言(3年8組 樋口太一)

去年までの目標は「東東京大会ベスト4」でした。グラウンドも手に入り、環境が大きく変わって甲子園への希望が大きくなりました。やるからには目指すは頂点です。

★監督・コーチの面々

監督・宮島孝一 顧問・桑原賢二、数馬大介  
コーチ・古谷信之、榊原央

# 吹奏楽部

★目標

- ①コンクール全国大会三年連続金賞受賞!!
- ②定期演奏会二回公演・成功を。

★顧問の一言

今まで以上に支援体制が整い部員達も張り切っています。今後もより良い演奏を目指して頑張ります。

★部長の一言(3年1組 田中 悠)

支援して下さる方達に音楽で感動をしていただくのが私たち吹奏楽部の役目だと思います。

★顧問・講師の面々

島田貴生、田辺統久  
山口恵美子、高野道子  
客員講師・加養浩幸



顧問 島田 貴生



# 学園オリンピックに チャレンジしよう!!

## 孺恋夏季セミナーが 諸君を待っている

一次試験・提出期限・提出先

部門	一次試験・提出期限	提出・問い合わせ先
国語	作品 4月26日(月)~5月11日(火)	島貫先生
数学	一次 5月 8日(土)	渡部先生
	論文 5月10日(月)~5月14日(金)	
理科	レポート 5月17日(月)~5月24日(月)	石井先生
英語	一次 5月24日(月)	吉田先生
	作文 5月 6日(木)~5月13日(木)	
造形	作品 5月21日(金)~5月27日(木)	橋(小泉)先生
知財	レポート 5月20日(木)~5月26日(水)	畠田先生

※詳しくは配布済みの学園オリンピックニュースを見るか、提出先の先生に問い合わせして下さい。

# 校外活動・スポーツ大会(5月15日) 充実した一日を!

**親睦 3年**  
を深めよう  
大自然と野趣溢れる  
バーベキュー

**団結 2年**  
を図ろう  
広々とした本校グラウンドでの  
スポーツ大会

**夢を 1年**  
を見つけよう  
最先端の教育を誇る  
東海大学見学



## 行事 予定

May 5月

June 6月

- 3日(月) 憲法記念日
- 4日(火) 国民の休日
- 5日(水) こどもの日
- 6日(木) 朝礼
- 8日(土) 後援会定期総会・部活動後援会定期総会
- 12日(水) 一斉公開授業
- 13日(木) 学年集会(3年)
- 14日(金) 水曜日の授業
- 15日(土) 校外活動(1・3年)  
スポーツ大会(2年、本校総合グラウンド)
- 18日(火) 校医相談日
- 19日(水) 中学校巡回、中学校訪問(1年)、自宅学習(2・3年)
- 22日(土) 後援会委員総会
- 25日(火) 中間テスト(~28日まで)
- 29日(土) 特設模試(1・2・3年)
- 31日(月) 教育実習開始(~6月18日まで)



- 1日(火) 東海大学付属推薦小論文試験(3年)  
小論文コンテスト(1・2年)  
教育実習(5月31日~6月18日まで)
- 2日(水) 朝礼
- 3日(木) 生徒による授業評価アンケート(第一回)
- 4日(金) 生徒総会(7限目)
- 7日(月) 剛健検診(1・2年)
- 8日(火) 剛健検診(2・3年)
- 10日(木) 学年集会(2年)
- 12日(土) 英検・漢検  
(9:00~12:00)  
後援会学年懇談会
- 15日(火) 校医相談日
- 19日(土) 保護者会(1年)
- 21日(月) 研修旅行(~26日まで)(2年)  
4時限授業(~25日まで)(1・3年)
- 23日(水) 自宅学習日(1年)  
スポーツ大会  
(グラウンド)(3年)
- 26日(土) スポーツ大会  
(グラウンド)(1年)



## 編集 後記

スーパーサイエンスハイスクール。なんと心地よい響きでしょう。全国屈指の学校と肩を並べて、身の引き締まる思いです。教育家・思想家・科学者の創立者松前重義先生の建学の精神を柱とした、我が校の教育方針が高く評価されたのです。613人の新入生にも、21,274名の卒業生にも誇り高いことです。一人一人が自信をもって胸を張ってよりよい高校生活を歩んで欲しいものです。(ゆ)

東海大学付属高輪台高等学校

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>